

2024年7月2日

各 位

住信SBIネット銀行株式会社

**住信 SBI ネット銀行、金融経済教育の一環として
小・中学生向けキャリア教育教材
『おしごと年鑑 2024』に協賛**

住信 SBI ネット銀行株式会社（本社：東京都港区、代表取締役社長(CEO)：円山 法昭、以下「住信 SBI ネット銀行」）は、将来を担う小・中学生への金融経済教育の一環として、朝日新聞社・朝日学生新聞社が発行する小・中学生向けキャリア教育教材『おしごと年鑑 2024』に協賛しました。



住信 SBI ネット銀行は、SDGs（持続可能な開発目標）への取組みの一環として、2023 年よりキャリア教育教材『おしごと年鑑』に協賛しています。

『おしごと年鑑』は、2016 年から毎年発行されており、日本全国の小中学校（約3万校）と教育委員会、子ども食堂、学童、小児病棟等に寄贈され、子供たちが将来の仕事に対するビジョンを描く手助けとなっています。

『おしごと年鑑 2024』の住信 SBI ネット銀行の掲載ページでは、『「イチゴ支店」という支店を持つ銀行があるってホント？』をテーマに、スマホでできる主な銀行取引やネット銀行のサービス、セキュリティなどについて、わかりやすく紹介しています。

「イチゴ支店」という支店を持つ銀行があるってホント？

銀行の仕事 お金や経済に関わる仕事 生活を便利にする仕事



街なかにある銀行の支店と違い、果物の名前のついた支店ってどういうことでしょうか？そこには、インターネット上での取引を中心に営業する「ネット銀行」の特徴が関係しています。住信 SBI ネット銀行に聞きました。

A ホント、街なかの銀行のように店舗に地名を付ける必要がないからなんだ。住信 SBI ネット銀行の支店は果物などの名前だよ。

銀行でできる主な取引

お金を預ける



家に現金を置いておくと、盗難や火事などのリスクがあります。安全かつ確実にお金を預かるのが銀行の役割。銀行に預金しておくことで教育費など将来の備えにもなります。

お金を送る・受け取る



クレジット・カードやスマホで決済したお金は、銀行を経由して支払いされます。

ネット銀行とは

インターネット

インターネット専用の銀行のこと。店舗を持たずにパソコンやスマホなどを使ったインターネット上での取引が中心です。リアルな店舗がないネット銀行でも支店名が必要なのは、金融機関でお金のやりとりをするシステムで、支店名が必要だからです。住信 SBI ネット銀行で口座を開設すると、イチゴやミカン、ブドウ、メロンといったフルーツなどの支店名が割り当てられます。どの支店名になるのか、わくわくしますね。

ネット銀行とは

インターネット

インターネット

インターネット

インターネット

インターネット

インターネット

インターネット

インターネット

インターネット

インターネット

インターネット

インターネット

インターネット

インターネット

インターネット

インターネット

インターネット

インターネット

インターネット

インターネット

インターネット

インターネット

インターネット

インターネット

インターネット

インターネット

インターネット

インターネット

インターネット

インターネット

インターネット

インターネット

インターネット

インターネット

インターネット

インターネット

インターネット

インターネット

インターネット

インターネット

インターネット

インターネット

インターネット

インターネット

インターネット

インターネット

インターネット

インターネット

インターネット

インターネット

インターネット

インターネット

インターネット

インターネット

インターネット

インターネット

インターネット

インターネット

インターネット

インターネット

インターネット

インターネット

インターネット

インターネット

インターネット

ネット銀行のサービス

ネット銀行はこんなところもおトク

ネット銀行は店舗を持たず、窓口業務も不要なため、一般の銀行よりも営業にかかるコスト（費用）が安く済みます。その分、預金金利を高く設定できたり、振込や入出金にかかる手数料を無料（もしくは安く）にしたりするなど、お客さんにとってうれしいサービスが提供できるのです。

ATM での入出金もいつものスマホで

インターネット専用の銀行の場合、「現金」が必要な場合はどうするの？と思われるかもしれませんが、そんなときは、コンビニに設置されている ATM で、24 時間 365 日お金の入出金が可能です。しかもスマホにアプリを入れておけばキャッシュカードなしで、入出金ができるのです。また、入出金の際はスマホの生体認証によって安全な取引が可能です。

テクノロジーを活用した革新的な金融サービスをご提供いたします

住信 SBI ネット銀行株式会社
経営企画部、広報・IR 部の皆さん

住信 SBI ネット銀行は、「テクノロジーと公正の精神で、誰かさが価値を創る社会」を創っていくをスローガンに、AI などの最先端テクノロジーを活用し、金融サービスを革新し続けています。スマホ 1 つで銀行の取引ができるなど、お客さまにさらに安心・安全・快適な環境で便利なサービスをご利用いただくため、引き続き新たな価値を創造してまいります。

スマホが銀行の代わりでもセキュリティは大丈夫？

スマホへの不正アクセスを防ぎ、安全な取引ができるように、さまざまなセキュリティ対策がとられています。

不正送金を防ぐ「スマート認証 (NEO)」

スマートフォンに登録された本人顔認証情報とアプリを結ぶ「スマート認証 (NEO)」が働いています。登録したアプリ以外からの取引には承認が必要となるため、不正送金を防ぎます。

不正ログインを防ぐ機能

スマート認証 NEO のログイン承認設定を ON にすることで、登録したスマートフォン以外では取引を継続できないため、第三者からの不正ログインを防ぎます。

取引内容をメールで通知

連絡と異なる誤操作からアクセスがあった場合や、誤操作があった場合など、登録したメールアドレスを見て通知メールを送ります。万が一、不正な取引があった場合は、すぐに対応できます。



また、学校の先生向けに、各教科の単元ごとの授業展開のアイデアを現役の小・中学校の先生たちがまとめた『おしごと年鑑 2024』の使い方、当社掲載ページが紹介されました。小5 社会の単元「情報を活かす産業」の中で、ネット銀行の役割やサービス、セキュリティなどについて学ぶ構成で、情報通信技術をからめた「金融経済教育」ができる内容になっています。

おしごと年鑑指導案集

本協賛により、小・中学生をはじめとする多くの読者の皆さまへ、ネット銀行への興味・関心を深めるきっかけを提供し、ネットを活用した家計管理の方法や資産形成について理解が深まることを目指します。

住信 SBI ネット銀行は、金融経済教育をサステナビリティ重点項目の主な取組みの一つとして位置づけ、取り組んでおります。お客さまの様々なライフステージに寄り添い、引き続き幅広い学びの機会を提供することで、次世代を担う子供たちの育成を後押ししてまいります。

以上

本プレスリリースに関するお問合せ先：住信 SBI ネット銀行 広報・IR 部：03-6779-5495
: kouhou_pr@netbk.co.jp